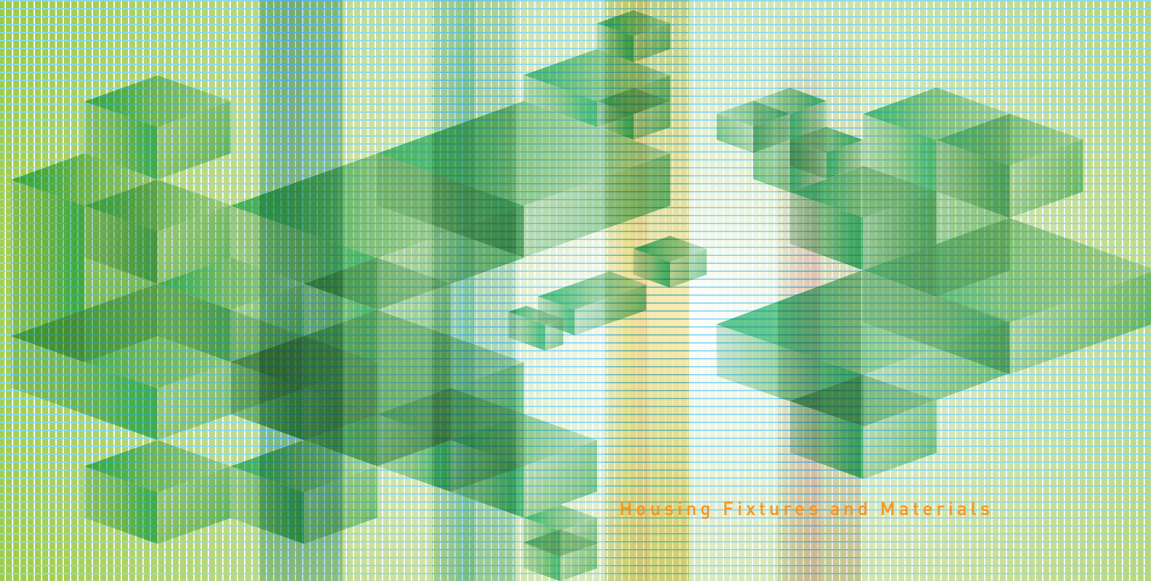


第112期 報告書

[平成23年4月1日～平成24年3月31日]

Chemical Products

Laminated Sheets



Housing Fixtures and Materials

Electronics

アイカ工業株式会社



Chemical Products

Laminated Sheets

Housing Fixtures and Materials

Electronics

CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 企業活動のご案内	5
■ 財務情報	7
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結株主資本等変動計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 会社の概要	11
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第112期(自平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故の影響を大きく受けたものの、個人消費と設備投資の持ち直しにより緩やかながら回復基調をたどってまいりました。しかしながら、欧州金融危機や急激な為替の変動、原油価格高騰などの影響もあり、先行き不透明感が残る状況が続いております。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は依然として低水準ながらも対前年で増加基調にあり、非住宅市場におきましても、医療・福祉施設を中心に堅調に推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、災害リスクの分散とコスト低減に向けた生産拠点の最適化、顧客に密着した営業活動の強化、海外拠点拡大による海外市場への取り組み強化、市場ニーズにマッチした新商品開発に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は95,071百万円(前連結会計年度比6.6%増)、営業利益は10,564百万円(前連結会計年度比13.8%増)、経常利益は10,771百万円(前連結会計年度比14.0%増)、当期純利益は5,986百万円(前連結会計年度比10.5%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、電力供給の制約や、デフレと雇用情勢の悪化懸念、また、欧州金融不安や原油価格の高騰と、これらを背景とした海外景気の減速など、景気下押しリスクが

依然として残っておりますが、復興需要ならびに各種政策効果もあり、緩やかながら回復基調が続くものと予想されます。

建築業界におきましても、東日本大震災後の停滞から持ち直し、住宅ならびに非住宅市場ともに底堅く推移するものと見込まれます。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、リフォーム・改修を含めた国内需要の取り込みと顧客基盤拡大によるシェアアップ、海外事業と非建築市場における機能材料事業の成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発を図り、持続的に事業を拡大しうる体制を構築してまいります。

なお、海外市場での競争力強化の一環として、昨年10月、インドにおいて、子会社アイカ・ラミネーツ・インディア社を通じボンベイパーマ社の化粧板事業を買収いたしました。また、東南アジアにおいては、昨年8月から本年2月にかけて、ベトナム・インドネシア・タイにそれぞれ駐在事務所を開設いたしました。

機能材料事業においては、当社の連結子会社ガンツ化成株式会社を、本年4月1日をもって吸収合併するとともに、新たに「機能材料事業部」を発足させ、太陽電池関連材料・自動車材料・電子材料・シリコン材料・有機微粒子等の非建築市場への取り組みを強化いたします。

当社グループは、コンプライアンス(法令遵守)とCSR(企業の社会的責任)を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



代表取締役会長

渡辺 修



代表取締役社長

小野 勇治

セグメント別のご案内

化成品セグメント

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤の販売は低調でしたが、建築施工用接着剤および合板用接着剤が堅調に推移したことに加え、新規分野として取り組んでいる太陽電池向け接着剤やシリコン樹脂系接着剤が順調に売上を伸ばすことができました。

樹脂系商品は、東日本大震災の復旧用途でコンクリート補修用樹脂「ジョリシール」などが伸びたことに加え、環境および作業性に配慮した上下水道向け防蝕材「ダイナミックレジン」の拡販に努めた結果、売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、化粧品用途を中心とした国内市場向けは売上を伸ばすことができましたが、海外向けについては円高の影響もあり厳しい状況で推移しました。また、原材料価格上昇の影響により、営業利益は前年と比べ減少いたしました。

このような結果、当セグメントの売上高は32,569百万円（前連結会計年度比3.2%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は2,154百万円（前連結会計年度比8.3%減）となりました。



ダイナミックレジン
（コンクリート片剥落防止工法）



環境配慮型接着剤
Fフォースター（F☆☆☆☆）対応
アイカエコボンド

建築材セグメント

建築材商品は、汎用性の高い単色メラミン化粧板を刷新した「カラーシステムフィット」、指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つ高意匠メラミン化粧板「セルサス」、耐摩耗性・耐汚染性などの機能に優れる化粧ボード「マーレスボード」など特徴ある商品が堅調に推移したことや、壁面と家具・什器類との色柄を連動させる提案を強化した結果、医療・福祉施設、教育施設、交通施設など、公共性の高い物件で受注を伸ばすことができました。また、インドにおける化粧板事業の買収などにより、海外における売上も増加いたしました。

このような結果、当セグメントの売上高は25,893百万円（前連結会計年度比9.3%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は4,916百万円（前連結会計年度比16.3%増）となりました。



CEL SUS（セルサス）

物件名：TULLY'S COFFEE レム児島店
設計：株式会社ドイルコレクション
撮影：Nacasa & Partners Inc.



カラーシステムフィット

物件名：ヨシツヤ甚目寺店
基本設計：設計事務所ゴンドラ
実施設計：株式会社フジタ

住器建材セグメント

インテリア建材は、トレンド柄を生かした「マーレスIIクラスSシリーズ」、柄の豊富さとメラミンポストフォーム扉の意匠を特徴とした収納システム「アイキャビ」が好評で、順調に売上を伸ばすことができました。また、機能引戸「UD(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」はサービス付高齢者住宅向けへの採用が増え、売上を大きく伸ばすことができました。

また、メラミン化粧板の曲面加工商品であるポストフォームと不燃化粧材「アイカセラル」は、医療・福祉施設、教育施設向けが堅調に推移し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、当セグメントの売上高は30,697百万円(前連結会計年度比9.4%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は4,926百万円(前連結会計年度比19.9%増)となりました。



ai-cabi (アイキャビ)



UD(ユニバーサルデザイン)
コンフォートシリーズ

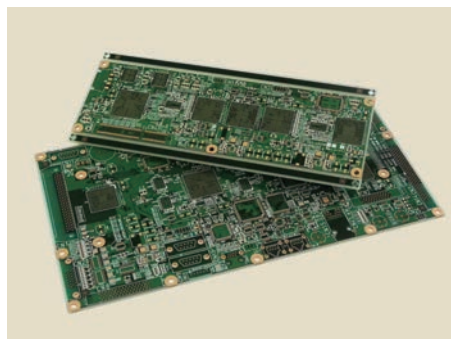
物件名：グループホーム第二あま恵寿荘
設計：中日設計株式会社

電子セグメント

主力のプリント配線板は、高速伝送・電磁波障害対策分野におけるシミュレーション技術を中心としたパターン設計が好調でしたが、半導体関連・工作機械などの産業用途向けを中心に厳しい状況で推移し、売上は前年を下回る結果となりました。

電子材料は、フィルム用途でブロッキング特性に優れるUV(紫外線)硬化型ハードコート樹脂「アイカイトロン」が堅調に推移し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、当セグメントの売上高は5,911百万円(前連結会計年度比0.2%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は581百万円(前連結会計年度比10.1%増)となりました。



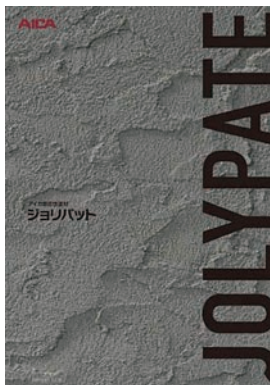
アイカイトロン 配線板
〈高速信号伝送基板〉

「ジョリパット」「アイカトイレブースピュアコアタイプ」2011年度 グッドデザイン賞受賞

外装・内装仕上塗材「ジョリパット」と表面材にメラミン化粧板を使用した「アイカトイレブースピュアコアタイプ」が2011年度グッドデザイン賞を受賞しました。

「ジョリパット」は、180色以上のカラーと100以上のパターンがあり自由度の高いデザインはコテ、吹付け、ローラーと多彩な表現が可能です。

「アイカトイレブースピュアコアタイプ」は、表面材にメラミン化粧板を使用し優れた耐久性を備えるとともに、シンプルさを追求することにより全体の一体感を実現し、従来のトイレブースのイメージを一新しました。



高級人造石「フィオレストーン」

水晶を原材料とした高級人造石は、高い硬度と豊富なデザイン、優れたメンテナンス性などから、海外のキッチン天板や洗面カウンター、店舗什器などに最も汎用的に使用されている材料のひとつです。

アイカオリジナルブランドの「フィオレストーン」は天然石の質感はそのままに、樹脂の強度も併せ持つ理想的な素材で、国内における人造石の販売強化を図ります。



R&Dセンター新研究棟(茨城研究室)完成

2011年11月、茨城工場内に新研究棟が完成しました。新研究棟は、地上2階建て、最先端のエレクトロニクス分野に適した機能性樹脂の実験設備および光学材料設計に適したクリーンな実験環境を備えています。

これにより、迅速かつ柔軟な製品開発から量産までを一貫して進めることが可能となり、新規樹脂の開発能力が大幅に増強されます。



海外での生産・営業拠点強化

アジア諸国の経済成長とともに現地での建築関連商品の需要が増加するなか、当社は、海外での生産・営業拠点の強化を推進しています。

2011年10月には、アジア地域における生産能力の強化と最適生産に向けたエリア戦略を推進するため、インドに化粧板事業の製造・販売拠点を設けました。

また、社会インフラの整備が急速に進み、今後の市場拡大が期待されるベトナム、インドネシア、タイに駐在事務所を開設しました。

今後も、各国市場に密着したきめ細かい顧客対応を推進し、販売強化に努めます。



〈アイカ・ラミネーツ・インディア社(インド)〉

第58回 アイカ現代建築セミナー

講師：妹島和世
(SANAA・妹島和世建築設計事務所代表)

講演テーマ：「環境と建築」

日時：2012年7月13日(金)

東京会場：有楽町 朝日ホール

講師：西沢立衛
(SANAA・西沢立衛建築設計事務所代表)

講演テーマ：「近作について」

日時：2012年7月5日(木)

大阪会場：御堂会館 大ホール



無溶剤UV硬化型塗料「アイカイトロンZ-980」

「アイカイトロンZ-980」は、独自のアクリル樹脂設計技術、透明複合化技術を生かして開発された有機溶剤を含まない無溶剤UV硬化型塗料です。

一般的なUV硬化型塗料と異なり、有機溶剤を含まないため環境・人への影響に配慮した製品であるとともに、高い透明性と光沢のあるクリアな塗装外観を実現しました。



〈携帯電話への使用例〉

連結決算

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	75,467	68,562
現金および預金	30,114	28,510
受取手形および売掛金	36,884	32,647
たな卸資産	5,990	5,032
繰延税金資産	919	957
その他	1,734	1,549
貸倒引当金	△175	△135
固定資産	27,529	26,076
有形固定資産	16,820	16,668
無形固定資産	1,184	766
投資その他の資産	9,524	8,641
投資有価証券	8,149	7,330
繰延税金資産	205	357
その他	1,685	1,476
貸倒引当金	△516	△522
資産合計	102,997	94,638

科 目	当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	25,177	20,779
支払手形および買掛金	18,237	14,657
短期借入金	274	329
未払法人税等	2,388	2,079
賞与引当金	1,307	1,272
その他	2,970	2,441
固定負債	1,628	1,734
長期借入金	473	709
繰延税金負債	6	5
退職給付引当金	239	286
その他	908	732
負債合計	26,805	22,514
純資産の部		
株主資本	75,181	71,234
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,780
利益剰余金	54,608	52,325
自己株式	△2,588	△4,763
その他の包括利益累計額	198	224
その他有価証券評価差額金	644	548
繰延ヘッジ損益	△3	11
為替換算調整勘定	△443	△335
新株予約権	27	19
少数株主持分	785	646
純資産合計	76,191	72,124
負債純資産合計	102,997	94,638

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	前連結会計年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)
売上高	95,071	89,216
売上原価	68,231	63,923
売上総利益	26,840	25,292
販売費および一般管理費	16,275	16,006
営業利益	10,564	9,286
営業外収益	509	429
営業外費用	302	268
経常利益	10,771	9,447
特別利益	14	140
特別損失	247	392
税金等調整前当期純利益	10,538	9,196
法人税、住民税および事業税	4,222	3,756
法人税等調整額	213	△74
少数株主損益調整前当期純利益	6,102	5,514
少数株主利益	115	96
当期純利益	5,986	5,417

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
平成23年4月1日残高	9,891	13,780	52,325	△4,763	71,234	548	11	△335	224	19	646	72,124
連結会計年度中の 変動額												
剰余金の配当			△2,218		△2,218							△2,218
当期純利益			5,986		5,986							5,986
自己株式の取得				△0	△0							△0
自己株式の処分		0		179	179							179
自己株式の消却		△511	△1,484	1,996	—							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						95	△14	△107	△26	8	138	120
連結会計年度中の 変動額合計	—	△511	2,283	2,174	3,946	95	△14	△107	△26	8	138	4,067
平成24年3月31日残高	9,891	13,269	54,608	△2,588	75,181	644	△3	△443	198	27	785	76,191

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

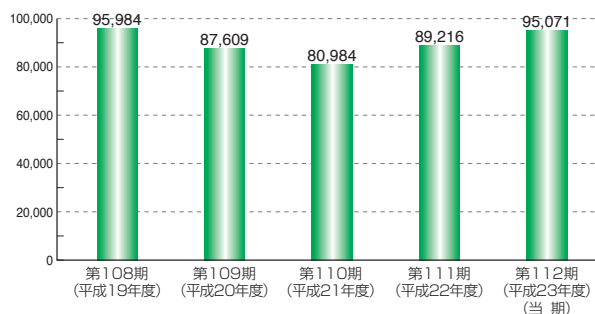
● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	前連結会計年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,402	6,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,386	1,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,403	△2,242
現金および現金同等物に係る換算差額	△8	△30
現金および現金同等物の増減額	1,603	5,881
現金および現金同等物の期首残高	28,510	22,629
現金および現金同等物の期末残高	30,114	28,510

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

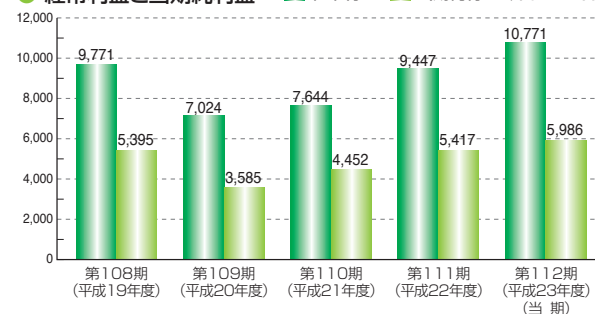
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と当期純利益

(単位:百万円)



単独決算

●貸借対照表

科 目	(単位:百万円)	
	第112期 (平成24年3月31日現在)	第111期 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	66,006	61,730
現金および預金	26,304	25,604
受取手形および売掛金	33,129	30,007
たな卸資産	3,448	3,149
繰延税金資産	718	764
その他	2,528	2,320
貸倒引当金	△123	△115
固定資産	25,625	23,360
有形固定資産	10,712	10,866
無形固定資産	326	532
投資その他の資産	14,586	11,961
投資有価証券	7,515	6,696
関係会社株式	5,183	3,312
繰延税金資産	147	265
その他	2,257	2,209
貸倒引当金	△516	△522
資産合計	91,631	85,090

●損益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	第112期 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	第111期 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)
売上高	83,799	79,093
売上原価	61,132	57,662
売上総利益	22,666	21,430
販売費および一般管理費	14,237	14,285
営業利益	8,429	7,144
営業外収益	916	886
営業外費用	454	470
経常利益	8,891	7,559
特別利益	9	131
特別損失	223	379
税引前当期純利益	8,676	7,311
法人税、住民税および事業税	3,321	2,887
法人税等調整額	185	△26
当期純利益	5,170	4,450

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	(単位:百万円)	
	第112期 (平成24年3月31日現在)	第111期 (平成23年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	22,063	18,555
支払手形および買掛金	16,683	14,097
未払法人税等	1,944	1,554
賞与引当金	1,094	1,069
その他	2,340	1,834
固定負債	1,076	1,262
長期借入金	473	709
退職給付引当金	—	14
その他	603	538
負債合計	23,140	19,818
純資産の部		
株主資本	67,824	64,694
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,277	13,789
利益剰余金	47,243	45,777
自己株式	△2,588	△4,763
評価・換算差額等	638	557
その他有価証券評価差額金	641	546
繰延ヘッジ損益	△3	11
新株予約権	27	19
純資産合計	68,490	65,272
負債純資産合計	91,631	85,090

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成23年4月1日残高	9,891	13,277	511	1,622	44,154	△4,763	64,694	546	11	557	19	65,272
事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△2,218		△2,218					△2,218
当期純利益					5,170		5,170					5,170
自己株式の取得						△0	△0					△0
自己株式の処分			0			179	179					179
自己株式の消却			△511		△1,484	1,996	—					—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								95	△14	80	8	88
事業年度中の変動額合計	—	—	△511	—	1,466	2,174	3,129	95	△14	80	8	3,218
平成24年3月31日残高	9,891	13,277	—	1,622	45,620	△2,588	67,824	641	△3	638	27	68,490

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) その他利益剰余金の内訳

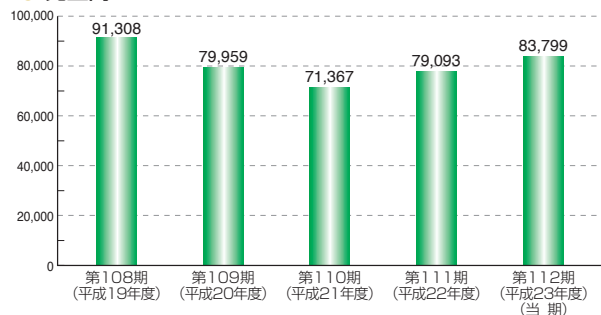
(単位:百万円)

	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成23年4月1日残高	234	16,976	26,943	44,154
事業年度中の変動額				
圧縮積立金の積立	19		△19	—
圧縮積立金の取崩	△0		0	—
剰余金の配当			△2,218	△2,218
当期純利益			5,170	5,170
自己株式の消却			△1,484	△1,484
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計	19	—	1,447	1,466
平成24年3月31日残高	254	16,976	28,390	45,620

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

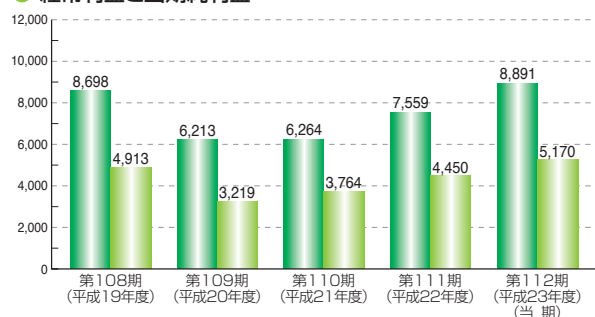
●売上高

(単位:百万円)



●経常利益と当期純利益

■経常利益 ■当期純利益 (単位:百万円)



プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000[案内]
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県)

甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県)

広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県)

丹波工場(兵庫県)

[開発拠点] R&Dセンター 甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター 茨城研究室(茨城県)

R&Dセンター 丹波研究室(兵庫県)

[営業拠点] 札幌支店(北海道) 静岡支店(静岡県)

仙台支店(宮城県) 金沢支店(石川県)

盛岡支店(岩手県) 大阪支店(大阪府)

東京支店(東京都) 神戸支店(兵庫県)

埼玉支店(埼玉県) 京都営業所(京都府)

横浜支店(神奈川県) 広島支店(広島県)

千葉支店(千葉県) 岡山営業所(岡山県)

北関東支店(群馬県) 四国支店(香川県)

宇都宮営業所(栃木県) 福岡支店(福岡県)

新潟営業所(新潟県) 鹿児島支店(鹿児島県)

名古屋支店(愛知県)

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗床材、各種接着剤、有機微粒子、他

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板

[住器建材セグメント]

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

[電子セグメント]

プリント配線板、電子材料

■連結子会社

[会社名]	[所在地]	[主要な事業内容]
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
西東京ケミックス株式会社	東京都	工業薬品・化学品等の販売
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売
テクノウッド社	インドネシア	建装材製造
昆山愛克樹脂有限公司	中国	化成品製造
瀋陽愛克浩博化工有限公司	中国	化成品製造販売
愛克樹脂貿易(上海)有限公司	中国	化成品・建装材・住器建材販売
アイカラミネーツ・インディア社	インド	建装材製造販売

取締役・監査役および執行役員

[代表取締役会長] 渡 辺 修

[代表取締役社長] 小 野 勇 治

[常務取締役] 岩 田 照 徳

[常務取締役] 森 永 博 之

[常務取締役] 伊 東 善 光

[取締役] 百 々 聡

[取締役] 岩 瀬 幸 廣

[取締役] 大 村 信 幸

[常勤監査役] 野 田 近

[常勤監査役] 佐 治 一 良

◎[監査役] 松 浦 洋

◎[監査役] 加 藤 正 和

◎[監査役] 浦 部 康 資

[上席執行役員] 加 藤 義 昭

[上席執行役員] 小 瀬 村 久

[執行役員] 村 瀬 元 康

[執行役員] 岡 田 賢 児

[執行役員] 堀 田 益 之

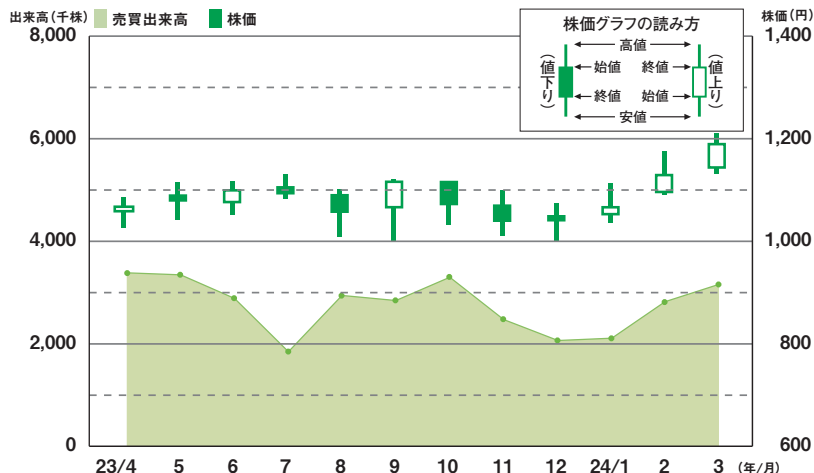
[執行役員] 森 良 二

(注)◎印は、社外監査役であります。

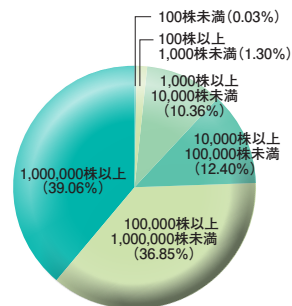
● 発行済株式の総数…67,590,664株

● 株主数…7,893名

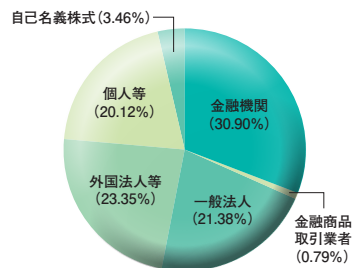
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



[所有株数別株式分布状況]



[所有者別株式分布状況]

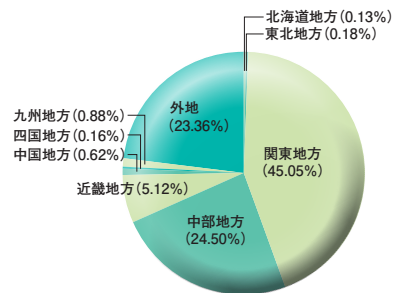


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いちごトラスト	4,846	7.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,137	4.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,023	4.63
アイカ工業取引先持株会	1,871	2.87
東京海上日動火災保険株式会社	1,863	2.86
アイカ工業株式保有会	1,655	2.54
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウントアメリカンクライアント	1,421	2.18
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,387	2.13
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
大日本印刷株式会社	1,293	1.98

※当社は、自己株式2,338千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 持株比率は、自己株式2,338千株を控除して計算しております。

[地域別株式分布状況]



株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

住まい空間を演出する

AICA



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、国連で認証された排出権（CER：インド国 Himachal Pradesh 州 Mandi 地区の水力発電事業）によりカーボンオフセットされております。

